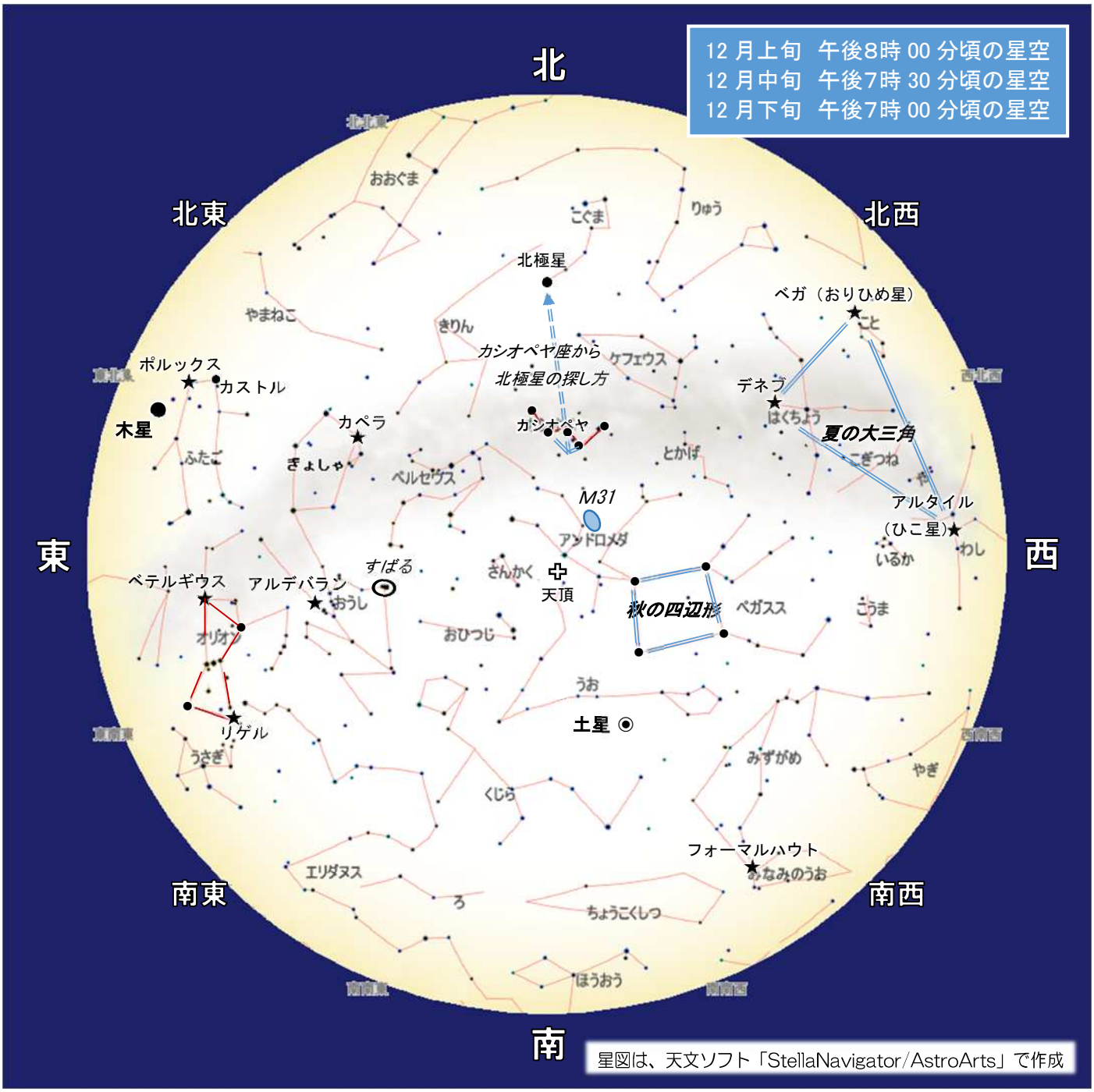
2026年 12月の星空案内



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【１２月の星空と惑星】

２２日が冬至です。１２月は夜が長いので、たくさんの星座を観察できます。日没後しばらくの間、西の空には、まだ『夏の大三角』が見えています。また、天頂付近には、『秋の四辺形』も見えています。ぎょしゃ座、おうし座、ふたご座、オリオン座などの１等星をもつ華やかな冬の星座たちが東の空から昇ってきます。土星は先月に引き続き、宵の南の空で見やすくなっています。２４日の満月は、スーパームーン（今年の満月の中で最も大きく見える満月）となります。

【ふたご座流星群】

「ふたご座流星群」は三大流星群の１つです。ふたご座のカストルあたりを中心に、放射状に飛ぶ流れ星が見られます。今年の極大は、１４日午後１１時頃（天文年鑑）と予想されています。さらに、今年は月明かりがなく、一晩中好条件で観察ができるので、明るい流星がたくさん見られると予想されています。昼間のうちに、安全に観察できる場所を見つけ、防寒対策をしっかりして観察してみましょう。

さいたま市青少年宇宙科学館